

東京 NPO 法人がお米を寄贈し慈善交流



このところ毎月、東京の信徒が多くのお米を供養してくれました。お米の鮮度を維持するために、江東区議会議員の米沢氏の協力を得て、東京佛光山寺住職の覚用法師は NPO 法人顧問の小笠原有美氏夫妻、及び東京協会理事の李莉莉氏と共に、7月23日に江東区社会福祉法人愛郷会介護老人福祉施設あじさいに行き、60 kgのお米を寄贈しました。理事長の竹川ひさ氏が代表として受け取りました。

理事長は、「信徒の方が寄贈してくださったお米を、高齢者の方々の健康のために食べてもらうことは老人ホームの幸せです」と述べました。理事長も仏教徒であり、法師やボランティアたちが来ることをとても喜んでいます。

理事長は老人ホーム設立について話しました。高齢者の方々が心身を落ち着かせる場所を得られるようにするため、また亡くなったご主人の人々を思う気持ちを偲ぶために、理事長はこの事業を引き受けました。同時に医者になった二人の息子さんたちに、人を助け世の中を助けるという精神で、患者さんたちに対しては思いやりや心配りの気持ちを持って仕事に励むようにと述べました。

